

立命館 言語文化研究

34巻2号

目次

国際言語文化研究所重点プロジェクト A1 歴史・移動・物語の包括的研究プロジェクト

日系移民の衣食住研究グループ「移民の衣食住」

- カナダ・バンクーバーにおける日本人移民の家内労働
——20世紀初頭におけるガーディナーの萌芽——……………河原典史（1）
- 満洲における日本人住居の形成と展開……………佐藤量（19）

世界／日本文学の展開とモダニティ「日本語から〈世界文学〉を考える」

- 世界文学から考える野間宏初期作品における〈肉体〉
——野間宏「肉体は濡れて」「地獄篇第二十八歌」——……………森祐香里（37）
- 金時鐘の「生理の言語」と「在所」
——『猪飼野詩集』（1978）から「献詩」（2022）へ——……………岡崎享子（51）
- 移民経験を聞く・想起する・書く作家
——大城立裕「ノロエステ鉄道」論——……………栗山雄佑（67）
- 「越境（者）」の対象化に潜む包摂
——多和田葉子「ゴットハルト鉄道」——……………金昇淵（83）

『生まれつき翻訳』のアクチュアリティ

- ポスト国民時代の現代詩……………吉田恭子（97）
- 翻訳的日本近代と純粹言語の夢
——村上春樹と先行者たち……………坂口周（105）
- モダニズムの翻訳
——ヴァージニア・ウルフの場合……………佐藤元状（119）
- 独裁者は世界文学の夢を見るか
——エヴゲーニー・チジョフ『下訳からの翻訳』とポストソヴィエト的翻訳ポリティクス
……………秋草俊一郎（129）

Collaborative Creation in the Field of Video Games: a Case Study of The Evil Within 2.

- ……………ファブレッティ・マッテオ（139）

不純な小説のために

- ヴィエト・タン・ウエン「アメリカ人」と現代合衆国文学の位置
……………井上博之（147）

どこに転がっていくの, 林檎ちゃん
——ロシア内戦時代の革命ソングとその文化的越境をめぐって
..... 田中壮泰 (155)

「生きられた言語」を交わす文学
——シュテファン・バチウの『MELE 詩の国際便』, a worlds literature · 阪本佳郎 (165)

国際言語文化研究所萌芽プロジェクト B1 バイリンガリズム研究会報告

「バイリンガリズム研究会」研究成果報告..... 田浦秀幸 (181)

日本人帰国高校生のアイデンティティ研究：
マインド・ボディー・スピリッツとトランスランゲージング
..... 田浦アマンダ, ヒーリ・サンドラ (183)

国際言語文化研究所重点プロジェクト A2

認知と表現をめぐる包括的研究プロジェクト「歴史と表象」

反ユダヤ主義とは何か？
——ドイツにおけるユダヤ人表象をめぐって..... 高橋秀寿 (195)

廃墟から遺産へ
——閉山後の軍艦島に対するまなざしの一考察..... 住田翔子 (225)

国際言語文化研究所萌芽プロジェクト B4 フランス哲学受容史研究会研究報告

「傍流としてのフランス哲学」

日本のフランス哲学受容をめぐる諸問題の解明に向けて..... 横田祐美子 (239)

吉満義彦の見たフランス哲学..... 伊藤潤一郎 (249)

哲学者と政治的制約
——宮川透の「近代日本哲学」..... 松田智裕 (259)

個別論文

Se heurter à l'objet : l'idée de représentation dans *Le Feu follet* de Pierre Drieu la Rochelle
..... 松尾 剛 (271)